

2008年7月24日

**プレスリリース**

本資料は7月24日にチュ  
ーリッヒで発表されたプレ  
スリリースの翻訳版です

**クレディ・スイス・グループ  
2008年第2四半期業績を発表  
12億スイス・フラン（CHF）の純利益****3つの事業部門すべてで利益を計上、1株当たり希釈化純利益 1.12CHF****プライベート・バンキング部門は順調に資産を獲得：2008年第2四半期の新規純資産 174億CHF****インベストメント・バンキング部門は堅調な業績：正味評価損は2,200万CHFにとどまる****2008年第2四半期もリスク・エクスポージャーの大幅引下げを継続：  
レバレッジド・ファイナンスにおけるリスク・エクスポージャーは今年第1四半期末比31%減、前年第3四半期末比76%減  
商業用モーゲージにおけるリスク・エクスポージャーはそれぞれ今年第1四半期末比22%減、前年第3四半期末比58%減****2008年6月30日現在のパーゼル II BIS 第1分類資本比率は10.2%と引き続き健全**

クレディ・スイス・グループは、本日、2008年第2四半期業績を発表しました。それによると、2008年第2四半期は12億1,500万CHFの純利益を計上しました（前年同期は31億8,900万CHFの純利益）。2008年第2四半期業績の中核事業業績ベースの純営業収益は78億3,000万CHFで、2008年第1四半期を159%上回りましたが、前年同期を33%下回りました。当四半期の1株当たり希釈化純利益は1.12CHFでした（前年同期は2.82CHF）。

クレディ・スイス・グループ最高経営責任者（CEO）のブレイディ・ドゥーガンは次のように述べています。「2008年第2四半期の業績を喜ばしく思います。これは当社の統合ビジネス・モデルの弾力性と収益力、そしてリスクとコストの管理を引き続き重視した結果を反映しています。当四半期は、ウェルス・マネジメント事業が力強い成長を見せ、インベストメント・バンキング部門も堅調な業績を残しました。当社は、クレジット市場問題の初期段階から、リスク・ポジションの引下げを継続してきました。業界全体が根本的な変化に直面していますが、当社は、その適切な事業ミックスの強みによって、市場シェアを伸ばす絶好の機会を得ています」。

「保守的な資金管理、そして世界で最も資本状況が優れた銀行の一つとしての位置付けにより、当社は引き続き競争優位性を維持しています。当四半期にプライベート・バンキング部門が獲得した力強い新規純資産や、そのほかの事業への顧客流入は、顧客がクレディ・スイス・グループに置いている信頼の強さを示すものです。現在の困難な市況は、今後も短・中期的に続くと考えられるため、当社は、保守的な事業管理を継続していきます」（ドゥーガン）。

## 決算ハイライト

単位：百万 CHF	2008年 第2四半期	2008年 第1四半期	2007年 第2四半期	2008年第1 四半期からの 増減率(%)	2007年第2 四半期からの 増減率(%)
当期純利益（純損失）	1,215	(2,148)	3,189	-	(62)
継続事業からの1株当たり希釈化純利益 （CHF）	1.12	(2.10)	2.82	-	(60)
自己資本収益率	13.2%	(20.8)%	29.7%	-	-
バーゼルII BIS第1分類資本比率（当 期末） <sup>1)</sup>	10.2%	9.8%	-	-	-
<b>中核事業<sup>2)</sup></b>					
純営業収益	7,830	3,019	11,703	159	(33)
貸倒引当金繰入額	45	151	(20)	(70)	-
総営業費用	6,214	5,440	7,637	14	(19)
税引前利益（損失）	1,571	(2,572)	4,086	-	(62)

<sup>1)</sup> バーゼルII BIS第1分類資本比率は2008年1月1日から適用。それ以前の四半期はバーゼルIに基づく比率であるため比較不可能。

<sup>2)</sup> 中核事業は3事業部門とコーポレート・センターの業務を含む。ただし、大きな経済的利益を有しない少数株主持分に  
関する収益と費用を除く。

## 部門別業績

### プライベート・バンキング部門

ウェルス・マネジメントとコーポレート&リテール・バンキングからなるプライベート・バンキング部門の2008年第2四半期の税引前利益は12億2,000万CHF、前年同期比12%減でした。

ウェルス・マネジメントの2008年第2四半期の税引前利益は8億3,000万CHFで、好調であった前年同期実績を17%下回りました。2008年第2四半期の純営業収益は前年同期比4%減で、これは経常営業収益が回復したものの、取引ベースの営業収益の減少によって相殺されたためです。総営業費用は5%増で、これは主に世界的な事業基盤拡大に向けた戦略的投資を継続したためです。この一環として、当社は、当四半期に全世界でリレーションシップ・マネジャー120名を採用し、専門家チームをさらに強化しました。2008年第2四半期の税引前利益マージンは36.4%（前年同期は42.0%）でした。

コーポレート&リテール・バンキングの2008年第2四半期の税引前利益は3億9,000万CHFで、前年同期比3%増でした。純営業収益は前年同期比2%増でした。当四半期の貸倒引当金の正味取り崩し額は500万CHFで、前年同期の2,800万CHFを下回りましたが、これは単独エクスポージャーが解決したためです。総営業費用は前年同期比2%減で、これは従業員報酬および諸手当の増加分以上に、一般管理費および手数料費用が減少したためです。2008年第2四半期の税引前利益マージンは39.5%（前年同期は39.2%）でした。

## インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門は、2008年第2四半期に黒字転換を果たし、税引前利益2億8,100万CHFを計上しました（前年同期は25億200万CHFの過去最高を計上）。2008年第2四半期の純営業収益は前年同期50%減でしたが、2008年第1四半期比では大幅増を記録しました。困難な市況にもかかわらず、多くの事業は堅調な業績を上げました。前年同期比での減収は、前年同期の例外的な高い水準と比べて、当四半期は業界全体的なオリジネーションの落ち込み、特にストラクチャード商品とレバレッジド・ファイナンスが低迷したためです。2008年第2四半期の純営業収益も、レバレッジド・ファイナンスとストラクチャード商品の正味評価損合計額2,200万CHFとクレディ・スイス社債の信用スプレッド縮小による時価評価差損5億300万CHFを反映しています。

2008年第2四半期の債券トレーディング収入は前年同期に比べ大幅に減少しましたが、これは前述の正味評価損の計上とオリジネーション業務の低迷によるものです。グローバル金利業務からの収入も大幅に減少しましたが、この減収分の一部は、住宅用モーゲージ担保証券業務および欧州高格付債券業務の増収によって相殺されました。当四半期の株式トレーディング収入は前年同期に比べ減少しましたが、これは主に株式自己売買業務および転換社債業務の収入が、好調だった前年同期より低かったためです。減収分の一部は、プライム・サービスの過去最高に近い業績およびキャッシュ・エクイティ業務の好調な業績によって相殺されました。株式デリバティブ業務も好調な業績を上げました。債券業務と株式のトレーディング業務は、クレディ・スイス社債が2008年第1四半期の大幅な評価益を記録したことと比べて、当四半期に時価評価差損を計上したことの影響を受けました。引受業務およびアドバイザリー業務は、業界全体の市場活動の低下により、前年同期に比べ減収となりました。総営業費用は32%減で、これは主に業績不振を反映して従業員報酬と各種手当の給付額が減少したためです。

## インベストメント・バンキング部門における正味評価額調整とエクスポージャー

2008年第2四半期のレバレッジド・ファイナンスとストラクチャード商品業務における正味評価損は2,200万CHFとわずかにとどまりました。エクスポージャーは2008年第1四半期日に比べ大幅に引き下げられました。

### 正味評価額調整

(単位：百万 CHF)	2008年	2008年	2007年
	第2四半期	第1四半期	第4四半期
レバレッジド・ファイナンス	(86)	(1,681)	(231)
商業用モーゲージ担保証券 (CMBS)	(477)	(848)	(384)
住宅用モーゲージ担保証券 (RMBS)	33	(96)	(480)
債務担保証券 (CDO)	508	(2,656)	(1,341)
<b>合計</b>	<b>(22)</b>	<b>(5,281)</b>	<b>(2,436)</b>

### リスク・エクスポージャー

(単位：十億 CHF)	2008年第2	2008年第1	2007年第4	2008年第1	2007年第4
	四半期末	四半期末	四半期末	四半期からの 増減率 (%)	四半期からの 増減率 (%)
レバレッジド・ファイナンス	14.3	20.8	35.1	(31)	(59)
商業用モーゲージ	15.0	19.3	25.9	(22)	(42)
住宅用モーゲージ	5.4	5.5	8.7	(2)	(38)
CDO 米国サブプライム	1.1	1.9	4.6	(42)	(76)

## アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門は、2008年第2四半期に黒字転換を果たし、1億6,700万CHFの税引前利益を計上しました（前年同期は2億9,900万CHFの税引前利益）。この減益は、当社のマネー・マーケット・ファンドが取得した有価証券の評価差益7,900万CHFおよび上半期業績ベースの手数料収入が、プライベート・エクイティおよびその他の投資関連商品の減益、ならびに平均預かり運用資産額の減少と資金調達費用の高騰による資産運用・管理手数料の減収によって相殺されたためです。純営業収益は前年同期比13%減ですが、当社マネー・マーケット・ファンド取得有価証券評価差益およびプライベート・エクイティおよびその他の投資関連商品の利益の影響分を計上する前の当四半期の純営業収益は前年同期比8%減です。総営業費用は前年同期比3%増で、これは従業員報酬および諸手当給付ならびに一般管理費の増加によるものです。2008年第2四半期の税引前利益マージンは22.6%（前年同期は35.1%）で、当社マネー・マーケット・ファンド取得有価証券評価差益の影響分計上前では13.3%です。取得有価証券の当社貸借対照表上の時価は2008年第2四半期末現在15億CHFで2008年第1四半期末から7億2,400万CHF減少しました。

## 部門別業績

単位：百万CHF		2008年 第2四半期	2008年 第1四半期	2007年 第2四半期	2008年第1 四半期からの 増減率(%)	2007年第2 四半期からの 増減率(%)
プライベート・ バンキング	純営業収益	3,265	3,355	3,353	(3)	(3)
	貸倒引当金繰入額	(5)	(5)	(29)	0	(83)
	総営業費用	2,050	2,036	2,001	1	2
	税引前利益	1,220	1,324	1,381	(8)	(12)
インベストメント・ バンキング	純営業収益	3,740	(489)	7,538	-	(50)
	貸倒引当金繰入額	50	156	9	(68)	456
	総営業費用	3,409	2,815	5,027	21	(32)
	税引前利益（損失）	281	(3,460)	2,502	-	(89)
アセット・ マネジメント	純営業収益	739	63	853	-	(13)
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	-
	総営業費用	572	531	554	8	3
	税引前利益（損失）	167	(468)	299	-	(44)

## 新規純資産

プライベート・バンキング部門が2008年第2四半期に獲得した新規純資産は174億CHF（ウェルス・マネジメントが獲得した新規純資産154億CHFを含む）、これは四半期平均成長率換算ベースで5.9%に相当します。この業績は全ての地域、特に欧州・中東・アフリカ（EMEA）地域およびアジア太平洋地域から好調な流入があったためです。アセット・マネジメント部門の2008年第2四半期の新規純資産は38億CHFの正味資産流出でした。グループ全体の運用資産総額は2008年6月30日現在1兆4,119億CHFで、2007年6月30日現在の実績を13.3%下回りましたが、これは主に外国為替および市場動向が不利に作用したためです。

## 統合ビジネス・モデルの利点

2008年第2四半期に、クレディ・スイスは、部門横断的な協調体制を通じて13億CHFの営業収益を上げました。2008年上半期通算では25億CHFに達しました。

### 健全な資本基盤

クレディ・スイス・グループの資本基盤は引き続き健全で、2008年6月30日現在のバーゼル II BIS 第1分類資本比率は10.2%でした。これを達成するために希釈化による株主資本の調達は一切行なっておらず、当四半期中に大幅な未払配当金の計上を行いました。

### 本件に関するお問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーションズ

梶野 勇

Tel : 03-4550-9893

Email : isamu.kajino@credit-suisse.com

### クレディ・スイスについて

クレディ・スイスは、世界有数の銀行として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開し、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界50ヶ国以上に拠点をもち、約49,000人の従業員を有しています。クレディ・スイスは世界各地にある複数の事業法人で構成され、本拠地はチューリッヒにあります。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式 (CSGN) はスイスで上場され、米国預託証券 (CS) としてニューヨークでも上場しています。

**Cautionary statement regarding forward-looking information and non-GAAP information**

This press release contains statements that constitute forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act. In addition, in the future we, and others on our behalf, may make statements that constitute forward-looking statements. Such forward-looking statements may include, without limitation, statements relating to the following:

- our plans, objectives or goals;
- our future economic performance or prospects;
- the potential effect on our future performance of certain contingencies; and
- assumptions underlying any such statements.

Words such as “believes,” “anticipates,” “expects,” “intends” and “plans” and similar expressions are intended to identify forward-looking statements but are not the exclusive means of identifying such statements. We do not intend to update these forward-looking statements except as may be required by applicable securities laws. By their very nature, forward-looking statements involve inherent risks and uncertainties, both general and specific, and risks exist that predictions, forecasts, projections and other outcomes described or implied in forward-looking statements will not be achieved. We caution you that a number of important factors could cause results to differ materially from the plans, objectives, expectations, estimates and intentions expressed in such forward-looking statements. These factors include:

- the ability to maintain sufficient liquidity and access capital markets;
- market and interest rate fluctuations;
- the strength of the global economy in general and the strength of the economies of the countries in which we conduct our operations, in particular the risk of a continued US or global economic downturn in 2008 and beyond;
- the direct and indirect impacts of continuing deterioration of subprime and other real estate markets;
- further adverse rating actions by credit rating agencies in respect of structured credit products or other credit-related exposures or of monoline insurers;
- the ability of counterparties to meet their obligations to us;
- the effects of, and changes in, fiscal, monetary, trade and tax policies, and currency fluctuations;
- political and social developments, including war, civil unrest or terrorist activity;
- the possibility of foreign exchange controls, expropriation, nationalization or confiscation of assets in countries in which we conduct our operations;
- operational factors such as systems failure, human error, or the failure to implement procedures properly;
- actions taken by regulators with respect to our business and practices in one or more of the countries in which we conduct our operations;
- the effects of changes in laws, regulations or accounting policies or practices;
- competition in geographic and business areas in which we conduct our operations;
- the ability to retain and recruit qualified personnel;
- the ability to maintain our reputation and promote our brand;
- the ability to increase market share and control expenses;
- technological changes;
- the timely development and acceptance of our new products and services and the perceived overall value of these products and services by users;
- acquisitions, including the ability to integrate acquired businesses successfully, and divestitures, including the ability to sell non-core assets;
- the adverse resolution of litigation and other contingencies; and
- our success at managing the risks involved in the foregoing.

We caution you that the foregoing list of important factors is not exclusive. When evaluating forward-looking statements, you should carefully consider the foregoing factors and other uncertainties and events, as well as the information set forth in our Form 20-F Item 3 – Key Information – Risk Factors.

This press release contains non-GAAP financial information. Information needed to reconcile such non-GAAP financial information to the most directly comparable measures under GAAP can be found in the Credit Suisse Financial Report 2Q08.